（別紙様式４）

令和6年9月20日

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
ＥＣＣ国際外語専門学校	昭和59年2月20日	大谷内　圭	〒　530-0015 （住所）大阪府大阪市北区中崎西2-1-6 （電話）06-6311-1446
設置者名	**設立認可年月日**	**代表者名**	**所在地**
学校法人山口学園	昭和58年11月22日	酒元　英二	〒　530-0015 （住所）大阪府大阪市北区中崎西2-3-35 （電話）06-6366-1440

分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度
文化・教養	語学ビジネス専門課程	エアライン学科	平成26(2014)年度	-	平成26(2014)年度

学科の目的	本学は学校教育法及び教育基本法に基づき、語学ビジネス専門教育を通じて、実社会に有用な人材の育成を目的とする。以て国際間の人々の交流と相互理解を促進し、世界の文化向上とその恒久平和樹立に寄与したい。
学科の特徴（取得可能な資格、中退率　等）	①エアライン業界・企業出身の講師・専門家による理論と実学教育を通じて、最先端の情報と技術を提供することにより業界や企業が求める即戦力を伴った人材養成教育を行う。 ②授業で得た知識・技能を空港・企業（航空会社等）などの現場で実践することにより、接客・接遇実戦（経験）力を高める教育を行う。 ③専門知識・技能を証明する資格（マナー・プロトコール検定・中国語検定・ハングル能力検定・普通救命講習修了資格・サービス接遇検定）取得教育を行う。 ④英語能力を磨き外国人のお客様とのコミュニケーション能力を高める実用英語教育を行う。

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入 1,710 単位時間 単位	1,680 単位時間 単位	120 単位時間 単位	単位時間 単位	単位時間 単位	単位時間 単位

生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数（生徒実員の内数）(B)	留学生割合(B/A)	中退率
96 人	27 人	0 人	0 %	0 %

就職等の状況

■卒業者数 (C)	12	人
■就職希望者数 (D)	10	人
■就職者数 (E)	10	人
■地元就職者数 (F)	4	人
■就職率 (E/D)	**100**	**%**
■就職者に占める地元就職者の割合 (F/E)	40	%
■卒業者に占める就職者の割合 (E/C)	83	%
■進学者数	2	人

■その他

（令和　　6 年度卒業者に関する令和６年５月１日時点の情報）

■主な就職先、業界等

（令和5年度卒業生）

ANA関西空港、韓進インターナショナルジャパン、ANA大阪空港、 JALスカイ、ANA福岡空港、ANAエアポートサービス、スカイマーク

第三者による学校評価

■民間の評価機関等から第三者評価：　有

※有の場合、例えば以下について任意記載

評価団体：一般社団法人専門職高等教育質保証機構　受審年月：2022年2月　評価結果を掲載したホームページＵＲＬ：https://qaphe.com/result/techgraduate/kokusaiecc/kokusaieccyear2021/

当該学科のホームページURL

https://kokusai.ecc.ac.jp/

企業等と連携した実習等の実施状況（Ａ、Ｂいずれかに記入）

（Ａ：単位時間による算定）

総授業時数			1,800 単位時間
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		0 単位時間
	うち企業等と連携した演習の授業時数		120 単位時間
	うち必修授業時数		0 単位時間
		うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	0 単位時間
		うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	120 単位時間
	（うち企業等と連携したインターンシップの授業時数）		0 単位時間

（Ｂ：単位数による算定）

総単位数			0 単位
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数		0 単位
	うち企業等と連携した演習の単位数		0 単位
	うち必修単位数		0 単位
		うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	0 単位
		うち企業等と連携した必修の演習の単位数	0 単位
	（うち企業等と連携したインターンシップの単位数）		0 単位

教員の属性（専任教員について記入）

① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者	（専修学校設置基準第41条第1項第1号）	0 人
② 学士の学位を有する者等	（専修学校設置基準第41条第1項第2号）	4 人
③ 高等学校教諭等経験者	（専修学校設置基準第41条第1項第3号）	0 人
④ 修士の学位又は専門職学位	（専修学校設置基準第41条第1項第4号）	0 人
⑤ その他	（専修学校設置基準第41条第1項第5号）	0 人
計		4 人

上記①～⑤のうち、実務家教員（分野におけるおおむね５年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定）の数	2 人

1．「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

教育課程編成委員会を設置し関連する企業、団体等との連携体制を強化し、授業科目やカリキュラムの更なる充実をはかる。業界に精通した協会および企業等より委員を選任し、年２回の委員会では以下の事項について協議をし、改善を積極的に実践する。
１．授業内容・学習成果・進路成果を分析し、改善策を協議する。年二回実施する、学生アンケート結果や授業内容・進路内容・学校生活等の情報をもとに、教育内容の改善を行う。
２．企業･業界からの新たなニーズや要望を受け入れ、カリキュラムや実習・授業以外のプログラムに組み込めるかを協議し、年間カリキュラム、プログラムに反映させる。そのために、積極的に就職先企業よりモニターリングを行い、職業人として必要な要素や課題の情報収集につとめる。
３．教職員のスキル（専門知識/技術）と指導力の向上を図るために研修体制を継続的に行うための情報共有の場とする。教職員アンケート(年2回)を実施しその情報を基に、企業研修（インターンシップ）の事前教育、研修期間中、事後教育における企業との連携・調整の改善をおこなう。
４．教育課程編成委員会で協議された内容を、学内カリキュラム編成委員会で検討し、次年度以降の実際のカリキュラムや学校事業に組み込み、採用できない場合はその背景をまとめ次年度以降の教育課程編成委員会で報告し了解を得る。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
以下の①～⑤の流れに沿って編成委員会において、教育課程の改善を図る
① 教務課：教育に関する現状分析と課題をまとめ③の教育課程編成委員会に資料提出する。
② 進路指導課：進路指導に関する現状分析と課題をまとめ③の教育課程編成委員会に資料提出する。
③ 第１回教育課程編成委員会：教務･進路指導の課題を受け、企業･業界の立場から改善策の協議と提案する。
④ 学内カリキュラム編成委員会：教育課程編成委員会での協議内容に基づき審議し実施可能か決定する。
⑤ 第２回教育課程編成委員会：新年度の人材育成目標、カリキュラム改善点等を報告し承認を得る。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年7月31日現在

名　前	所　　属	任期	種別
福重　綾	株式会社　Ｋスカイ	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	③
明石　伸子	特定非営利活動法人　日本マナー・プロトコール協会	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	①
鮎澤　緑	スカイマーク株式会社	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	③
大谷内　圭	ＥＣＣ国際外語専門学校　学校長		－
東井　喜美	ＥＣＣ国際外語専門学校　副校長		－
杣田　典彦	ＥＣＣ国際外語専門学校キャリアセンター責任者		－
榊原　悠祐	ＥＣＣ国際外語専門学校　教務課責任者		－
田中　笑子	ＥＣＣ国際外語専門学校　教務課		－
林　智美	ＥＣＣ国際外語専門学校　専任教員		－

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
（当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。）
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
地方公共団体等の役職員（１企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
（年間の開催数及び開催時期）
年2回　（7月、2月）
（開催日時（実績））
第１回　令和5年8月30日　14：00～16：00
第２回　令和6年3月12日　10：00～12：00

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
新規科目「ICTリテラシー」が導入され、卒業年次生が履修。入社後の部署異動で現場を離れた場合でもすぐに対応できるスキルとして企業の方にも高い評価をいただいている。航空関連企業内のあらゆる部署でキャリアの選択肢を模索する力、柔軟に業務に向き合い遂行できる応用力が専門学生の課題となっており、キャリアに対する視野を広げる取り組みを 学生のうちに行っていく必要がある。

２．「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（１）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

1.企業等との連携による実習・演習等の目的

・業界の実態を理解するために仕組み、内容、最新情報・技術を学生に授業を通じて提供する。

（２）実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

提携する保育園等の施設において、コース担当、及び専任教員が実習実施に向けて実習園、施設担当者、園長・責任者等から実習の方針、方法、内容などや事前、事後のカリキュラム内容、授業内容、進行に関して助言をうける。特に実習前において、実習にあたっての心得、姿勢など、現場の視点からの率直な指導を頂く。同時に各園、施設の最新事業についての知識を教授頂き、業界動向の更新、及びその流れに沿ったカリキュラム、指導内容へとつなげていく。

（３）具体的な連携の例※科目数については代表的な５科目について記載。

科　目　名	企業連携の方法	科　目　概　要	連　携　企　業　等
エアラインリサーチＩA	２．【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	航空業界全般の基礎知識、及び客室乗務員とグランドスタッフの業務について学びます。 航空輸送の歴史と現状について理解を深め、フルサービスキャリアやローコストキャリアといった各航空会社の特徴を学びます。	株式会社　Kスカイ
GS スタディ応用ＩB	２．【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	旅客運送の知識を学びます。搭乗手続きを行なうチェックインカウンター、搭乗口、到着/乗り継ぎ等の場面において航空業界用語の解説も含め仕事の内容を学んでいきます。	株式会社　Kスカイ
CAスタディ応用ＩB	２．【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	客室乗務員の仕事の基礎を学びます。機内アナウンス、drinkサービス、誘導・案内業務などを想定したロールプレイ（日本語・英語）を通じて、業務内容を理解し、接客力を伸ばします。	スカイマーク株式会社
CA・GSスタディ基礎SB	２．【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	客室乗務員とグランドスタッフの業務について学びます。座学に加えロールプレイングを多く取り入れそれぞれの業務の知識やスキルを習得します。	スカイマーク株式会社

３．「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（１）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

「教務規約第３５条」に定められている通り、以下の基本方針を定めている。

1. 推薦学科の教員に対する研修・研究の目的

教員の質を一定以上に保つことと技術の向上のために、業界で使用されている標準技術、最新技術等を教員が直接企業等から学ぶ研修と、教授技術等の教育に関わる研修を毎年度それぞれ1回以上実施する

（２）研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：　現状の業界動向や施設状況を理解するための研修　　連携企業等：　スカイマーク株式会社

期間：　令和5年9月4日　　対象：　教職員

内容　モックアップや格納庫等の施設見学や人事課や管理職の方々との意見交換会。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：　グループアプローチによる適応支援 -かかわりづくりワークショップ-　　連携企業等：　株式会社図書文化社

期間：　2023年2月14日　　対象：　教職員

内容　入学直後の学生同士の関係づくりとして、「安全」かつ「有効な」かかわりづくりワークショップを実施するため、ワークショップの必要性と概要、ねらいと効果を学びます。実際の活動を体験しながら、どのようにワークショップを展開していくか、学生の実態に応じた展開の工夫やポイントを解説いただきます。

（３）研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：　客室乗務員が"本当に"実践するコミュニケーションセミナー ～チームが活性化する多様な個性や意見の引き出し方とは～　　連携企業等：　日本航空株式会社

期間：　令和6年7月24日　　対象：　専任教員

内容　チーム力を向上させるための心理的安全性やコミュニケーションに関する客室乗務員が実践していることを学びます。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：　Hyper-QU結果の活用研修　　連携企業等：　（株）図書文化社

期間：　**令和6年5月2日**　　対象：　教職員

内容　休退学防止の一環として取り組んでいるQUアンケートについて、学生対応・組織作りに関する課題を可視化し、改善するしくみを学びます。

研修名：　心のサポーター養成研修　　連携企業等：　大阪市こころの健康センター

期間：　2024年11月11日　　対象：　教職員

内容	心の不調に気づき、適切に対応できることが目的にこころの病気の疫学、こころの病気からの回復、メンタルヘルスファーストエイドについて学び、聴くワークを通して、実践的なスキルを身に付けます。

４．「学校教育法施行規則第１８９条において準用する同規則第６７条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

（１）学校関係者評価の基本方針

本校の「学校評価実施規定」に学校関係者評価について以下のように定めている。
（学校関係者評価）
第11条　校長は自己評価の結果を本校の関係者により組織した学校関係者評価委員会（以下「関係者委員会」という。）
に報告し、意見を聴き、その意見を尊重し、教育活動及び学校運営に活用しなければならない。
（関係者委員会の構成）
第12条　関係者委員会は、次に掲げる区分から校長が委託する委員により構成する。
（1）関連業界等関係者　2名以上　（2）卒業生　1名　（3）保護者または地域関係者　1名　（4）その他校長が必要と認める者1名
2　委員の任期は、2年とする。だたし再任を妨げない。
（関係者委員会の運営）
第13条　関係者委員会に委員長を置く。
2　関係者委員会は、校長が招集し、委員長がその運営にあたる。
3　校長が必要と認める場合は、関係者委員会に委員以外の者の出席を求めることができる。
4　関係者委員会は、委員の過半数が出席しなければ開会することができない。
5　関係者委員会は、自己評価の進捗状況に応じ次年度の計画策定までの間に開催しなければならない。
（報酬及び費用弁償）
第14条　関係者委員会の報酬及び費用弁償については、本校が定める基準により支払う。
（学校関係者評価の評価結果）
第15条　委員長は、関係者委員会による評価結果をまとめ、報告書を作成しなければならない。
（学校関係者評価の活用）
第16条　教職員は、学校関係者評価の結果を活用し、教育活動及び学校運営等の質の保証と向上に継続的に努めなければならない。
（学校関係者評価結果の報告）
第17条　校長は、学校関係者評価結果を理事会に報告しなければならない。（学校関係者評価結果の公表）
第18条　校長は学校関係者評価結果について公表しなければならない。
（その他）
第19条　本規定に定めるもののほか本校の学校評価に関し必要な事項は、校長が別に定める。
本校ではこの「学校評価実施規定」に則り、年間１～2回、学校関係者評価委員会を開催、学園ホームページ上に公開している。

（２）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
（１）教育理念・目標	･学校の理念･目的･育成人材像は定められているか ･学校における職業教育の特色は何か ･社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか ･学校の理念･目的･育成人材像･特色･将来構想などが学生･保護者等に周知されているか ・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか
（２）学校運営	・目的等に沿った運営方針が策定されているか ･運営方針に沿った事業計画が策定されているか ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか ・人事、給与に関する規定等は整備されているか ・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか

（3）教育活動	・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリュキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。 ・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか ・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか ・授業評価の実施・評価体制はあるか ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか ・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか ・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか ・職員の能力開発のための研修等が行われているか
（4）学修成果	・就職率の向上が図られているか ・資格取得率の向上が図られているか ・退学率の低減が図られているか ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。
（5）学生支援	・進路・就職に関する支援体制は整備されているか ・学生相談に関する体制は整備されているか ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか ・課外活動に対する支援体制は整備されているか ・学生の生活環境への支援は行われているか ・保護者と適切に連携しているか ・卒業生への支援体制はあるか ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか
（6）教育環境	・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか ・防災に対する体制は整備されているか
（7）学生の受入れ募集	・学生募集活動は、適正に行われているか ・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか ・学納金は妥当なものとなっているか
（8）財務	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ・財務について会計監査が適正に行われているか ・財務情報公開の体制整備はできているか
（9）法令等の遵守	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか ・自己評価結果を公開しているか
（１０）社会貢献・地域貢献	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか ・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか
（１１）国際交流	・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか ・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか ・留学生の学修・生活指導について学内に適切な体制が整備されているか ・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか

※（１０）及び（１１）については任意記載。

（3）学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価で浮かび上がった課題を基に、教職員間の意見交換の機会や、学内で実施されていることの情報共有や意識統一の機会となるＭＴＧを週１回実施している。また学生募集において留学の魅力訴求強化として、語学だけでなく経験値を積める多様な留学制度について発信を行っている。

（４）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名　前	所　　属	任期	種別
岸部　雄二	株式会社　Ｋスカイ	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	企業等委員
中上　隆雄	済美地域社会福祉協議会	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	地域委員
杉井　繭	卒業生	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	卒業生
貴治　康夫	高等学校教員	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）	高校教員
五十嵐　駿太	株式会社　With The World	令和6年4月1日～令和8年3月31日（2年）	企業等委員
荒木 駿汰	卒業生	令和6年4月1日～令和8年3月31日（2年）	卒業生
髙田　由紀子	保護者	令和6年4月1日～令和8年3月31日（2年）	保護者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
（例）企業等委員、PTA、卒業生等

（５）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
（ホームページ　・　広報誌等の刊行物　・　その他（　　））
URL：　https://kokusai.ecc.ac.jp/
公表時期：　令和6年7月31日

５．「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（１）企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校では、文部科学省生涯学習政策局が平成２５年３月に発表した「専修学校における学校評価ガイドライン」附属資料５「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の趣旨および取組に当たっての視点、情報提供の内容・方法に則り、本校が設定する項目について本校及び学園のホームページ上で広く一般に公開するものとする。
連携および協力する企業等の学校関係者に対してもホームページ上で公開している情報を提供するとともに、学校関係者評価委員会や教育課程編成委員会等の委員会を通じて本校の教育活動その他の学校運営の状況について理解を深めていただくものとする。

（２）「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
（１）学校の概要、目標及び計画	学校の教育・人材養成の目標及び教育指導計画、経営方針、特色、校長名、所在地、連絡先、学校の沿革、歴史、その他の諸活動に関する計画　例：学校安全・保健対策等
（２）各学科等の教育	入学者に関する受け入れ方針及び入学者数、収容定員、在学学生数、カリキュラム（科目配当表（科目編成・授業時数）、時間割、使用する教材など授業方法及び内容、年間の授業計画進級・卒業の要件等（成績評価基準、卒業・終了の認定基準等）、学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定、資格取得、検定試験合格等の実績卒業者数、卒業後の進路（進学者数・主な進学先、就職者数・主な就職先）
（３）教職員	教職員数（職名別）教職員の組織、教員の専門性
（４）キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況、実習・実技等の取り組み状況、就職支援等への取り組み支援
（５）様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況、課外活動（部活動、サークル活動、ボランティア活動等）
（６）学生の生活支援	学生支援への取組状況
（７）学生納付金・修学支援	学生納付金の取扱い（金額、納入時期）活用できる経済的支援措置の内容等（奨学金、授業料減免等の案内等）
（８）学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、監査報告書
（９）学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果、評価結果を踏まえた改善方策
（１０）国際連携の状況	留学生の受入れ・派遣状況、外国の学校等との交流状況
（１１）その他	学則、学校運営の状況に関するその他の情報

※（１０）及び（１１）については任意記載。

（３）情報提供方法
（ホームページ　・　広報誌等の刊行物　・　その他（　　））
URL：　https://kokusai.ecc.ac.jp/about/self_evaluation/
公表時期：　令和6年7月31日

授業科目等の概要

	（語学ビジネス専門課程　エアライン学科　（エアラインコース））																	
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			ｴｱﾗｲﾝﾘｻｰﾁⅠA	航空業界全般の基礎知識、及び客室乗務員とグランドスタッフの業務について学びます。 航空輸送の歴史と現状について理解を深め、フルサービスキャリアやローコストキャリアといった各航空会社の特徴を学びます。 航空業界の使命や航空保安についての学びを通し、航空業界で働くことの意義を考え、就職活動に活かします。	1/前	30	2		○		○		○		○
2	○			CA･GSｽﾀﾃﾞｨ基礎ⅠA	客室乗務員とグランドスタッフの業務について学びます。座学に加えロールプレイングを多く取り入れそれぞれの業務の知識やスキルを習得します。	1/前	30	2		○		○		○		○
3	○			SPI対策(ｴｱﾗｲﾝ)ⅠA	航空会社の就職筆記試験において出題頻度の高い数学の問題を選出し解き方や考え方を指導します。SPI対策としても役立つ授業です。	1/前	30	2	○			○			○	
4	○			ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎ⅠA	エアライン就職とはどのようなものか基礎を学びます。また航空業界で求められる人材について考察します。	1/前	30	2	○			○		○		
5	○			ﾎｽﾋﾟﾀﾘﾃｨｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA	言葉遣いや立ち居振る舞いといった航空業界を目指す人としての「内面」を磨く学習です。	1/前	30	2	○			○		○		
6	○			ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ(AL)ⅠA	自分の主張や考えを的確に、効率よく、好感をもって相手に伝えられるよう、話の道筋を確立させる 「話法」を学習します。人前で自信を持って「説得力」と「影響力」のあるプレゼンテーションができる力を習得します。	1/前	30	2	○			○			○	
7	○			ｻｰﾋﾞｽ接遇検定対策(3級)ⅠA	お客様に満足いただける「ホスピタリティマインド」を知識と技術の双方の面から学ぶ。前期の検定取得目標は3級です。当のサービスや接遇について理解をもち、基本的な接客サービスを行うのに必要な知識・技能を身につけるように学習します。また、コミュニケーションの基本や言葉の大切さを学び、体現できるようにします。	1/前	30	2	○			○			○	
8	○			Amadeus Reservation FundamentalsⅠA	航空会社の予約管理システム端末の操作技能習得を通して、航空会社間の予約規則等航空業界の基礎知識を得ます。 操作実習を通し、都市コード、空港コードを初めとする航空業界、旅行業界で必要な知識を身につけます。	1/前	30	2	○			○			○	
9	○			ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ応用(AL面接)ⅠB	グループ面接、ディスカッション面接など様々な形式の面接に対応した対策を行ないます。 また本番を想定した模擬面接を実施することでエアライン面接についての理解を深めます。	1/後	30	2	○			○		○		
10	○			SPI対策(ｴｱﾗｲﾝ)ⅠB	航空会社の就職筆記試験において出題頻度の高い数学の問題を選出し解き方や考え方を指導します。SPI対策としても役立つ授業です。	1/後	30	2	○			○			○	
11	○			AIRLINE ENGLISHⅠB	航空業界でよく使う英語のフレーズ、単語の習得を目指します。ロールプレイングを通じて身につけていきます。	1/後	30	2	○			○		○		
12	○			ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ応用（就職対策）IB	自己分析を徹底的に行います。履歴書・エントリーシート作成などについてエアライン受験突破に必要なスキルを修得します。	1/後	30	2	○			○		○		
13	○			ﾏﾅｰ･ﾌﾟﾛﾄｺｰﾙ検定対策(3級)ⅠB	マナーやプロトコール（国際儀礼）に関わる知識を身につけ、真の国際人として世界で活躍できるようにエアライン業界では必須の「マナー・プロトコール検定」を学習し、まずは３級の取得を目指します。	1/後	30	2	○			○		○		
14	○			Career preparationⅠB	エアライン業界の採用試験対策を行います。書類選考のための準備や模擬筆記試験、本番を想定した模擬面接を行います。	1/後	30	2	○			○		○		
15	○			ｻｰﾋﾞｽ接遇検定対策(2級･準1級)ⅠB	お客様に満足いただける「ホスピタリティマインド」を知識と技術の双方の面から学び、接客適性を磨きます。そして、資格取得試験を通して、本当のサービスや接遇について理解をもち、基本的な接客サービスを行うのに必要な知識・技能を身につけるように学習していきます。	1/後	30	2	○			○			○	
16		○		Intensive English Studies Basic ⅠA	第二言語習得理論に基づき作成された学習システム「ENVISION」という教材を用い、学習初期の段階から自分のことについて考え、やりとりをし、まとまった量での発信ができることを目指します。 「聞く・話す・読む・書く」の4技能連動型のレッスンを行い、自分のための表現法を身に付けます。「瞬発力」「対話力」を備えた英語話者になることを目指します。	1/前	60	4	○			○		○	○	
17		○		Intensive English Studies Pre-Intermediate 1ⅠA	第二言語習得理論に基づき作成された学習システム「ENVISION」という教材を用い、学習初期の段階から自分のことについて考え、やりとりをし、まとまった量での発信ができることを目指します。 「聞く・話す・読む・書く」の4技能連動型のレッスンを行い、自分のための表現法を身に付けます。「瞬発力」「対話力」を備えた英語話者になることを目指します。	1/前	60	4	○			○		○	○	
18		○		Intensive English Studies Pre-Intermediate 2ⅠA	第二言語習得理論に基づき作成された学習システム「ENVISION」という教材を用い、学習初期の段階から自分のことについて考え、やりとりをし、まとまった量での発信ができることを目指します。 「聞く・話す・読む・書く」の4技能連動型のレッスンを行い、自分のための表現法を身に付けます。「瞬発力」「対話力」を備えた英語話者になることを目指します。	1/前	60	4	○			○		○	○	
19		○		Intensive English Studies Intermediate 1ⅠA	第二言語習得理論に基づき作成された学習システム「ENVISION」という教材を用い、学習初期の段階から自分のことについて考え、やりとりをし、まとまった量での発信ができることを目指します。 「聞く・話す・読む・書く」の4技能連動型のレッスンを行い、自分のための表現法を身に付けます。「瞬発力」「対話力」を備えた英語話者になることを目指します。	1/前	60	4	○			○		○	○	

20		○		Intensive English Studies Intermediate 2ⅠA	第二言語習得理論に基づき作成された学習システム「ENVISION」という教材を用い、学習初期の段階から自分のことについて考え、やりとりをし、まとまった量での発信ができることを目指します。 「聞く・話す・読む・書く」の4技能連動型のレッスンを行い、自分のための表現法を身に付けます。「瞬発力」「対話力」を備えた英語話者になることを目指します。	1/前	60	4	○			○		○	○	
21		○		Intensive English Studies Advanced ⅠA	第二言語習得理論に基づき作成された学習システム「ENVISION」という教材を用い、学習初期の段階から自分のことについて考え、やりとりをし、まとまった量での発信ができることを目指します。 「聞く・話す・読む・書く」の4技能連動型のレッスンを行い、自分のための表現法を身に付けます。「瞬発力」「対話力」を備えた英語話者になることを目指します。	1/前	60	4	○			○		○	○	
22		○		Speak Up Basic ⅠA	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	1/前	60	4	○			○		○	○	
23		○		Speak Up Pre-Intermediate 1ⅠA	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	1/前	60	4	○			○		○	○	
24		○		Speak Up Pre-Intermediate 2ⅠA	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	1/前	60	4	○			○		○	○	
25		○		Speak Up Intermediate 1ⅠA	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	1/前	60	4	○			○		○	○	
26		○		Speak Up Intermediate 2ⅠA	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	1/前	60	4	○			○		○	○	
27		○		Speak Up Advanced ⅠA	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	1/前	60	4	○			○		○	○	
28		○		News in English Honors ⅠA	This class is designed to develop students' skills in discussion, critical thinking, research, and public speaking.	1/前	60	4	○			○		○	○	
29		○		Sociology Honors ⅠA	社会制度や社会の変化について学習します。	1/前	30	2	○			○		○	○	
30		○		International Relations Honors ⅠA	時事問題の背景、影響、解決方法などをディスカッションします。	1/前	30	2	○			○		○	○	
31		○		Core English Basic ⅠA	「意味順」を活用し、文構造を理解し、文法や語彙の理解を深めます。 各国の異文化を体験するストーリーで知的好奇心を満たしながら学習をすすめます。	1/前	90	6	○			○		○	○	
32		○		Core English 2ⅠA	英検2級レベルの問題を使用し、「日常生活に必要な英語を理解し、使用できる力」を身に付けることを目指します。 進路実現のための検定資格取得を目指します。	1/前	90	6	○			○		○	○	
33		○		Core English P2ⅠA	英検準2級レベルの問題を使用し、「日常生活に必要な英語を理解し、使用できる力」を身に付けることを目指します。 進路実現のための検定資格取得を目指します。	1/前	90	6	○			○		○	○	
34		○		Core English T1ⅠA	TOEIC Listening & Reading 対策教材を使用し、英語を通した一般的な業務遂行に必要なコミュニケーション能力の向上を目指します。	1/前	90	6	○			○		○	○	
35		○		Core English T2ⅠA	TOEIC Listengin & Reading 対策教材を利用し、英語を通した一般的な業務遂行に必要なコミュニケーション能力の向上を目指します。	1/前	90	6	○			○		○	○	
36		○		Intensive English Studies Basic ⅠB	第二言語習得理論に基づき作成された学習システム「ENVISION」という教材を用い、学習初期の段階から自分のことについて考え、やりとりをし、まとまった量での発信ができることを目指します。 「聞く・話す・読む・書く」の4技能連動型のレッスンを行い、自分のための表現法を身に付けます。「瞬発力」「対話力」を備えた英語話者になることを目指します。	1/後	60	4	○			○		○	○	
37		○		Intensive English Studies Pre-Intermediate 1ⅠB	第二言語習得理論に基づき作成された学習システム「ENVISION」という教材を用い、学習初期の段階から自分のことについて考え、やりとりをし、まとまった量での発信ができることを目指します。 「聞く・話す・読む・書く」の4技能連動型のレッスンを行い、自分のための表現法を身に付けます。「瞬発力」「対話力」を備えた英語話者になることを目指します。	1/後	60	4	○			○		○	○	
38		○		Intensive English Studies Pre-Intermediate 2ⅠB	第二言語習得理論に基づき作成された学習システム「ENVISION」という教材を用い、学習初期の段階から自分のことについて考え、やりとりをし、まとまった量での発信ができることを目指します。 「聞く・話す・読む・書く」の4技能連動型のレッスンを行い、自分のための表現法を身に付けます。「瞬発力」「対話力」を備えた英語話者になることを目指します。	1/後	60	4	○			○		○	○	
39		○		Intensive English Studies Intermediate 1ⅠB	第二言語習得理論に基づき作成された学習システム「ENVISION」という教材を用い、学習初期の段階から自分のことについて考え、やりとりをし、まとまった量での発信ができることを目指します。 「聞く・話す・読む・書く」の4技能連動型のレッスンを行い、自分のための表現法を身に付けます。「瞬発力」「対話力」を備えた英語話者になることを目指します。	1/後	60	4	○			○		○	○	
40		○		Intensive English Studies Intermediate 2ⅠB	第二言語習得理論に基づき作成された学習システム「ENVISION」という教材を用い、学習初期の段階から自分のことについて考え、やりとりをし、まとまった量での発信ができることを目指します。 「聞く・話す・読む・書く」の4技能連動型のレッスンを行い、自分のための表現法を身に付けます。「瞬発力」「対話力」を備えた英語話者になることを目指します。	1/後	60	4	○			○		○	○	
41		○		Intensive English Studies Advanced ⅠB	第二言語習得理論に基づき作成された学習システム「ENVISION」という教材を用い、学習初期の段階から自分のことについて考え、やりとりをし、まとまった量での発信ができることを目指します。 「聞く・話す・読む・書く」の4技能連動型のレッスンを行い、自分のための表現法を身に付けます。「瞬発力」「対話力」を備えた英語話者になることを目指します。	1/後	60	4	○			○		○	○	
42		○		Speak Up Basic ⅠB	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	1/後	60	4	○			○		○	○	
43		○		Speak Up Pre-Intermediate 1 ⅠB	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	1/後	60	4	○			○		○	○	

44		○		Speak Up Pre-Intermediate 2 ⅠB	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	1/後	60	4	○			○		○	○	
45		○		Speak Up Intermediate 1 ⅠB	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	1/後	60	4	○			○		○	○	
46		○		Speak Up Intermediate 2 ⅠB	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	1/後	60	4	○			○		○	○	
47		○		Speak Up Advanced ⅠB	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	1/後	60	4	○			○		○	○	
48		○		News in English Honors ⅠB	This class is designed to develop students' skills in discussion, critical thinking, research, and public speaking.	1/後	60	4	○			○		○	○	
49		○		Sociology Honors ⅠB	社会制度や社会の変化について学習します。	1/後	30	2	○			○		○	○	
50		○		International Relations Honors ⅠB	時事問題の背景、影響、解決方法などをディスカッションします。	1/後	30	2	○			○		○	○	
51		○		Core English P2ⅠB	英検準2級レベルの問題を使用し、「日常生活に必要な英語を理解し、使用できる力」を身に付けることを目指します。 進路実現のための検定資格取得を目指します。	1/後	90	6	○			○		○	○	
52		○		Core English 2NⅠB	英検2級レベルの問題を使用し、「日常生活に必要な英語を理解し、使用できる力」を身に付けることを目指します。 進路実現のための検定資格取得を目指します。	1/後	90	6	○			○		○	○	
53		○		Core English 2ⅠB	英検2級レベルの問題を使用し、「日常生活に必要な英語を理解し、使用できる力」を身に付けることを目指します。 進路実現のための検定資格取得を目指します。	1/後	90	6	○			○		○	○	
54		○		Core English T1 ⅠB	TOEIC Listengin & Reading 対策教材を利用し、英語を通した一般的な業務遂行に必要なコミュニケーション能力の向上を目指します。	1/後	90	6	○			○		○	○	
55		○		Core English T2ⅠB	TOEIC Listengin & Reading 対策教材を利用し、英語を通した一般的な業務遂行に必要なコミュニケーション能力の向上を目指します。	1/後	90	6	○			○		○	○	
56		○		Core English T3ⅠB	TOEIC Listengin & Reading 対策教材を利用し、英語を通した一般的な業務遂行に必要なコミュニケーション能力の向上を目指します。	1/後	90	6	○			○		○	○	
57		○		GSｽﾀﾃﾞｨ応用ⅠB	旅客運送の知識を学びます。搭乗手続きを行なうチェックインカウンター、搭乗口、到着/乗り継ぎ等の場面において航空業界用語の解説も含め仕事の内容を学んでいきます。カウンター対応などを想定したロールプレイ（日本語・英語）も実施し、現場に即した対応能力を養います。	1/後	30	2		○		○		○		○
58		○		CAｽﾀﾃﾞｨ応用ⅠB	客室乗務員の仕事の基礎を学びます。機内アナウンス、drinkサービス、誘導・案内業務などを想定したロールプレイ（日本語・英語）を通じて、業務内容を理解し、接客力を伸ばします。	1/後	30	2		○		○		○		○
59	○			ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ実践ⅡA	自己分析を深め、実際のエントリーシート・履歴書を仕上げていきます。また募集のあった企業についての研究も行います。	2/前	30	2	○			○		○		
60	○			ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ実践(AL面接)ⅡA	グループ面接、ディスカッション面接など様々な形式の面接に対応した対策を行います。また志望企業別に対策することにより、本番を想定した模擬面接を実施します。	2/前	30	2	○			○		○		
61	○			社会時事･一般教養ⅡA	最新の社会の出来事や時事用語をおさえます。また航空業界の一般教養問題として頻出の日本地理・世界地理の知識も身につけます。	2/前	30	2	○			○		○		
62	○			手話ⅡA	指文字、日常の挨拶、数など特に日常生活でよく使う手話を習得します。	2/前	30	2	○			○			○	
63	○			多文化共生理解A	多文化共生社会の中で求められるグローバルマインドを身け、実社会で有用となるコミュニケーションスキル修得を目指して、本校留学生と日本人学生が様々なトピックについて互いの意見を交換し合う場を設けます。この授業は、複数の授業担当講師によるオムニバス形式で実施し、多様な考え方に触れ、自分の考え方を省みることが出来る柔軟な姿勢を持つことを目指します。	2/前	30	2	○			○		○		
64	○			ICTリテラシー基礎A	社会に出るにあたって必要となるICT活用力を身に付けるための、PCの運用力と活用力を醸成します。	2/前	30	2	○			○		○	○	
65	○			ﾋﾞｼﾞﾈｽﾏﾅｰ(ｴｱﾗｲﾝ)ⅡB	どの業界にも共通している社会人として必要なビジネスマナーの知識を学び、新入社員としての心構えを身に着けます。	2/後	30	2	○			○		○		
66	○			手話ⅡB	視覚的な言語である手話を学ぶことによって基本的なコミュニケーション技術を学習し、接客業等に役立てます。	2/後	30	2	○			○			○	
67	○			Practical Airline Communication ⅡB	1年次に学んだ航空業界でよく使う英語のフレーズ、単語のさらに上級編の習得を目指します。ロールプレイングも通じて身につけていきます。	2/後	30	2	○			○		○		
68	○			ﾏﾅｰ･ﾌﾟﾛﾄｺｰﾙ検定対策(2級)ⅡB	1年次に学んだマナーやプロトコール（国際儀礼）に関わる知識をベースに、真の国際人として世界で活躍できるようにエアライン業界では必須の「マナー・プロトコール検定」を学習し、2級の取得を目指します。	2/後	30	2	○			○		○		
69	○			卒業制作(AL)ⅡB	コースの学びの集大成として、航空業界やホスピタリティに関する研究テーマを決めプレゼンテーションを作成し発表します。プレゼンテーションでは日本語に加え、在学中に学んだ他言語の要素も盛り込み行います。	2/後	30	2	○			○		○		
72		○		Intensive English Studies Intermediate 2ⅡA	第二言語習得理論に基づき作成された学習システム「ENVISION」という教材を用い、学習初期の段階から自分のことについて考え、やりとりをし、まとまった量での発信ができることを目指します。 「聞く・話す・読む・書く」の4技能連動型のレッスンを行い、自分のための表現法を身に付けます。「瞬発力」「対話力」を備えた英語話者になることを目指します。	2/前	60	4	○			○		○	○	
73		○		Intensive English Studies Advanced 1ⅡA	第二言語習得理論に基づき作成された学習システム「ENVISION」という教材を用い、学習初期の段階から自分のことについて考え、やりとりをし、まとまった量での発信ができることを目指します。 「聞く・話す・読む・書く」の4技能連動型のレッスンを行い、自分のための表現法を身に付けます。「瞬発力」「対話力」を備えた英語話者になることを目指します。	2/前	60	4	○			○		○	○	

74		○		Intensive English Studies Advanced 2 II A	第二言語習得理論に基づき作成された学習システム「ENVISION」という教材を用い、学習初期の段階から自分のことについて考え、やりとりをし、まとまった量での発信ができることを目指します。 「聞く・話す・読む・書く」の4技能連動型のレッスンを行い、自分のための表現法を身に付けます。「瞬発力」「対話力」を備えた英語話者になることを目指します。	2/前	60	4	○			○		○	○	
75		○		Business Communication Pre-Honors II A	日常生活やビジネスの場面で、英語での円滑なコミュニケーション力の向上を目指します。解答例や表現例を通して、目的や場面に応じた適切かつ効果的な英語力を養います	2/前	60	4	○			○		○	○	
76		○		Speak Up Intermediate 1 II A	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	2/前	60	4	○			○		○	○	
77		○		Speak Up Intermediate 2 II A	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	2/前	60	4	○			○		○	○	
78		○		Speak Up Advanced II A	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	2/前	60	4	○			○		○	○	
79		○		Speak Up Pre-Honors II A	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	2/前	60	4	○			○		○	○	
80		○		Business Honors II A	This class is designed as a preparatory course for students' job search and working life.	2/前	60	4	○			○		○	○	
81		○		Film Criticism Honors II A	In this course students will learn the fundamentals of film criticism and interpretation. Moreover, students will develop an understanding of film as both a reflection of a larger socio-historical construct and as an artistic medium.	2/前	60	4	○			○		○	○	
82		○		TOEIC1 II A	TOEIC Listening & Reading 対策教材を使用し、英語を通した一般的な業務遂行に必要なコミュニケーション能力の向上を目指します。	2/前	90	6	○			○		○	○	
83		○		Journalism Honors II A	ライティング・テクニック、ビデオ・クリップ作成などジャーナリズムを実践的に学びます。	2/前	60	4	○			○		○	○	
84		○		Cultural Anthoropology Honors II A	This course is an introduction to cultural anthropology with an examination of various cultures, tradition, and beliefs around the world.	2/前	30	2	○			○		○	○	
85		○		TOEIC2 II A	TOEIC Listening & Reading 対策教材を使用し、英語を通した一般的な業務遂行に必要なコミュニケーション能力の向上を目指します。	2/前	90	6	○			○		○	○	
86		○		TOEIC3 II A	TOEIC Listening & Reading 対策教材を使用し、英語を通した一般的な業務遂行に必要なコミュニケーション能力の向上を目指します。	2/前	90	6	○			○		○	○	
87		○		TOEIC4 II A	TOEIC Listengin & Reading 対策教材を利用し、英語を通した一般的な業務遂行に必要なコミュニケーション能力の向上を目指します。	2/前	90	6	○			○		○	○	
88		○		Intensive English Studies Intermediate 1 II B	第二言語習得理論に基づき作成された学習システム「ENVISION」という教材を用い、学習初期の段階から自分のことについて考え、やりとりをし、まとまった量での発信ができることを目指します。 「聞く・話す・読む・書く」の4技能連動型のレッスンを行い、自分のための表現法を身に付けます。「瞬発力」「対話力」を備えた英語話者になることを目指します。	2/後	60	4	○			○		○	○	
89		○		Intensive English Studies Intermediate 2 II B	第二言語習得理論に基づき作成された学習システム「ENVISION」という教材を用い、学習初期の段階から自分のことについて考え、やりとりをし、まとまった量での発信ができることを目指します。 「聞く・話す・読む・書く」の4技能連動型のレッスンを行い、自分のための表現法を身に付けます。「瞬発力」「対話力」を備えた英語話者になることを目指します。	2/後	60	4	○			○		○	○	
90		○		Intensive English Studies Advanced II B	第二言語習得理論に基づき作成された学習システム「ENVISION」という教材を用い、学習初期の段階から自分のことについて考え、やりとりをし、まとまった量での発信ができることを目指します。 「聞く・話す・読む・書く」の4技能連動型のレッスンを行い、自分のための表現法を身に付けます。「瞬発力」「対話力」を備えた英語話者になることを目指します。	2/後	60	4	○			○		○	○	
91		○		Business Communication Advanced II B	日常生活やビジネスの場面で、英語での円滑なコミュニケーション力の向上を目指します。解答例や表現例を通して、実践的な英語力を養います。	2/後	60	4	○			○		○	○	
92		○		Business Communication Pre-Honors II B	日常生活やビジネスの場面で、英語での円滑なコミュニケーション力の向上を目指します。解答例や表現例を通して、実践的な英語力を養います。	2/後	30	2	○			○		○	○	
93		○		Translation Pre-Honors II B	This is intended to be an introduction to non-simultaneous translation. It is intending to build grammar, vocabulary and fluency skills in English, and increase overall speed of processing language.	2/後	30	2	○			○		○	○	
94		○		Speak Up Intermediate 1 II B	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	2/後	60	4	○			○		○	○	
95		○		Speak Up Intermediate 2 II B	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	2/後	60	4	○			○		○	○	
96		○		Speak Up Advanced II B	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	2/後	60	4	○			○		○	○	
97		○		Speak Up Pre-Honors II B	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	2/後	60	4	○			○		○	○	
98		○		Business Honors II B	This class is designed as a preparatory course for students' job search and working life.	2/後	60	4	○			○		○	○	
99		○		Film Criticism Honors II B	In this course students will learn the fundamentals of film criticism and interpretation. Moreover, students will develop an understanding of film as both a reflection of a larger socio-historical construct and as an artistic medium.	2/後	60	4	○			○		○	○	
100		○		韓国語基礎(AL) II A	グローバル社会で貢献を果たすことを目指して、ビジネス場で活用できる初歩的な韓国語の表現やスキルを養います。	2/前	60	4	○			○			○	
101		○		中国語基礎(AL) II A	ピンイン（発音記号）を最初に覚え、ネイティブに近い発音体系を学習する。また、簡単な自己紹介や疑問文や否定文など簡単なフレーズも覚えていきます。	2/前	60	4	○			○			○	

102		○		TOEIC1 ⅡB	TOEIC Listening & Reading 対策教材を使用し、英語を通した一般的な業務遂行に必要なコミュニケーション能力の向上を目指します。	2/後	90	6	○			○		○	○	
103		○		TOEIC2 ⅡB	TOEIC Listening & Reading 対策教材を使用し、英語を通した一般的な業務遂行に必要なコミュニケーション能力の向上を目指します。	2/後	90	6	○			○		○	○	
104		○		TOEIC3 ⅡB	TOEIC Listening & Reading 対策教材を使用し、英語を通した一般的な業務遂行に必要なコミュニケーション能力の向上を目指します。	2/後	90	6	○			○		○	○	
105		○		TOEIC4 ⅡB	TOEIC Listengin & Reading 対策教材を利用し、英語を通した一般的な業務遂行に必要なコミュニケーション能力の向上を目指します。	2/後	90	6	○			○		○	○	
106		○		Journalism Honors ⅡB	ライティング・テクニック、ビデオ・クリップ作成などジャーナリズムを実践的に学びます。	2/後	60	4	○			○		○	○	
107		○		Cultural Anthoropology Honors ⅡB	This course is an introduction to cultural anthropology with an examination of various cultures, tradition, and beliefs around the world.	2/後	30	2	○			○		○	○	
108		○		ｴｱﾗｲﾝ韓国語実践ⅡB	グローバル社会で貢献を果たすことを目指して、ビジネス場で活用できる韓国語の表現やスキルを養います。	2/後	30	2	○			○			○	
109		○		ｴｱﾗｲﾝ中国語実践ⅡB	１年次で学習した基本をベースに、エアラインで使う中国語を中心に学習を進めます。	2/後	30	2	○			○			○	
110		○		韓国語基礎(AL)ⅡB	グローバル社会で貢献を果たすことを目指して、ビジネス場で活用できる韓国語の表現やスキルを養います。	2/後	30	2	○			○			○	
111		○		中国語基礎(AL)ⅡB	前期で勉強した知識をベースに、これ、あれ、それ、などの指示代名詞や数量を表す言葉や場所を表す指示代名詞を学びます。	2/後	30	2	○			○			○	
合計					科目			120 単位（1800単位時間）								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件： 1710時間	１学年の学期区分	2 期
履修方法： 114単位を取得すること	１学期の授業期間	15 週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。